様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	臨床検査科	夜・通信	1365 時間	240 時間	
	放射線科	夜・通信	1860 時間	240 時間	
	鍼灸科	夜・通信	2575 単位	240 時間	
	整復科	夜・通信	1980 時間	240 時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医療法人　理事長	2019.10.27 ～ 2023.10.26	円滑な運営の促進
非常勤	元高等教育機関管理職	2019.10.27 ～ 2023.10.26	教育内容の充実
非常勤	元高等教育機関管理職	2019.10.27 ～ 2023.10.26	教育内容の充実
非常勤	医療法人　医師	2019.10.27 ～ 2023.10.26	教育内容の充実
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 臨床検査科：授業計画は授業に関わる教員が方法、内容等を記載し、科目を修得することにより臨床検査技師国家試験に合格できるよう教授する。また、中間、終講試験を実施し、学則に従い評価をする。 放射線科：学則、内規、教科内容に成績評価の内容等を記載している。 鍼灸科：１年次入学時に授業概要の掲載された全学年分のシラバスを配付して説明をおこなう。各学年開始時（４月）にシラバスを用いて、授業の概要を説明する。また、担当教員は出席簿に各科目別で授業内容を毎回記入し、シラバス逸脱のチェックをしている。 整復科：柔道整復師養成施設指導要綱を基に柔道整復師としての質の保障に適う人材育成のためのシラバスを作成し、教員、講師が内容及び到達目標を設定している。学則に明記している他オリエンテーションの際にも詳細に説明している。	
授業計画書の公表方法	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 臨床検査科：試験は終講試験（科目より中間試験も）を実施し、学則に従い評価をする。実習については、レポート評価と終講試験を実施の後点数化し、SA(90 点以上)、A(80～89 点)、B（70～79 点)、C（60～69 点)、D（60 点未満）で評価する。 放射線科：学修成果の評価は試験(筆記、論文、口述、実技、学修報告書等)によって行い、科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を及第点とする。 試験に合格した者に対して単位を認定する。 鍼灸科： ・各科目の最終講義を試験とし、合格者には単位を認定する。 ・成績不良者には再試験を実施する。 ・生体観察ではテーマごとに実習と実習に関するレポート提出を実施している。 ・レポート評価には、ルーブリック評価を検討中である。 整復科：レポートや実技試験においてもＯＳＣＥ等の評価法を用いてすべて点数化している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 臨床検査科：学則に従い試験を実施し、100 点満点中 60 点以上で単位修得とし、その総修得単位数を算出し、学則に定められた修得単位数の 3 分の 2 以上の修得で進級とする。また、修得できていない科目については再試験等を実施し単位修得につとめる。 放射線科：評価については 100 点を満点とし 60 点以上を合格としている。また、進級の判定は各学年で課せられている単位の 2/3 以上を修学した者を進級とする。 鍼灸科： ・進級判定、卒業判定などの成績評価は 100 点満点中 60 点を合格とする。 ・実技評価は項目を決めたＯＳＣＥで客観的評価を実施している。 　また、評価項目については事前に学生へ告知している。 ・本校のはりきゅう国家試験合格率が 90％程度のため、成績下位者 25％に面談、補講を実施している。 整復科：成績評価については３段階の評価を行い厳正に評価し、適正に管理して単位取得、進級、卒業を判定している。第 1 段階では絶対的評価として全てを点数化し評価を行う。実技試験等においても OSCE を基にして点数化し明確な評価基準を示して評価している。第 2 段階では相対的評価として絶対的評価で得られた点数を基に 80 点～100 点を優、70～79 点を良、60～69 点を可、60 点以下を不可として相対的評価を行い科目の習熟状態並びに評価の妥当性を検証しやすくしている。また成績証明書における表記にはこの評価結果を記載している。第 3 段階では絶対的評価で得られた点数を基に上位 25％をＡ、中上位 25％をＢ、中下位 25％をＣ、下位 25％をＤと評価し、ＧＤ（grade distribution）＝成績分布を検証できるようにして学生の成績状況を把握出来るようにしている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 臨床検査科：選択科目を除く必修科目の総修得単位数をもって卒業認定とする。 放射線科：３年以上在籍し、教育課程に定める授業科目を履修し、卒業要件を満たす単位を修得した者には卒業が認められる。 鍼灸科： ・学則に卒業要件を掲載し、総単位数の取得をもって卒業とする。 ・４月のオリエンテーションで卒業要件を説明する。 ・学科内教務会議で判定後、学校長の承認を得る。 整復科：学則に定められた要件を満たした者を卒業と認める。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/
財産目録	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/
事業報告書	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

臨床検査科

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療		医療専門課程	臨床検査科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3000 時間／単位	1635 時間	300 時間	1065 時間	時間	時間
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	119 人	0 人	6 人	39 人	45 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画は授業に関わる教員により、方法、内容等を記載し、科目を修得することにより臨床検査技師国家試験に合格できるよう教授する。また、中間、終講試験を実施し、学則に従い評価をする。
成績評価の基準・方法
（概要）試験は終講試験（科目より中間試験も）を実施し、学則に従い評価をする。実習については、レポート評価と終講試験を実施の後点数化し、SA(90 点以上)、A(80～89 点)、B（70～79 点）、C（60～69 点）、D（60 点未満）で評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に従い試験を実施し、100 点満点中 60 点以上で単位修得とし、その修得単位数を算出し、学則に定められた修得単位数の 3 分の 2 以上の修得で進級とする。また、修得できていない科目については再試験等を実施し単位修得につとめる。

学修支援等
（概要）目標である国家試験合格にむけ、模擬試験を多数回実施し、その点数を用いて面接等を行い、学習の進捗度合をはかり、不得意科目の学習を個別に支援し成績向上につなげる。図書館を午後８時まで開放し個人学習に寄与する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （100%）	0 人 （　　%）	31 人 （100%）	0 人 （　　%）
（主な就職、業界等） 病院、診療所			
（就職指導内容） 学生の個々の状況を勘案し、求人先からの情報を基に適切に指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 臨床検査技師国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１２５人	１０人	８．０％
（中途退学の主な理由） 経済的理由、家庭の事情等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席が目立つ学生について、本人及び保護者と早期の段階で連絡を密にとり、面接を行い、その原因や改善策を検討し、対応している。		

放射線科

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療		医療専門課程	放射線科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	3300 時間／単位	2115 時間	285 時間	900 時間	時間	時間
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１５０人	１４８人	０人	６人	４５人	５１人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業内容は教科内容に記載。前期・後期の二期制で時間割を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 100 点満点の試験で 60 点以上を合格とし、合格者には単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年で課せられた単位の 2/3 以上を修学した者を進級とし、３年以上在籍し卒業要件を満たした者は卒業が認められる。
学修支援等
（概要） 図書室の夜間(20 時まで)の開放や休暇期間中の教室開放および、休み時間または放課後など質問の随時受付。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
４１人 (100%)	人 (　　%)	３７人 (90.2%)	４人 (9.8%)
（主な就職、業界等） りんくう総合医療センター、行岡病院、京都府立医科大学附属病院　等			
（就職指導内容） 学生個別の事情に応じた求人情報の紹介を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療放射線技師国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１５９人	１３人	８．２%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早い時期で基礎科目の補講・補習を行い基礎学力の向上を図っている。		

鍼灸科

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	鍼灸科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	2935 時間／単位	1725 時間	250 時間	960 時間	時間	時間
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１５０人	１４８人	０人	８人	２６人	３４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

講義、演習、実習（実技を含む）の方法をとる。

前期、後期の週間時間割をもとに、年間実施時間割を作成する。

成績評価の基準・方法

（概要）

100 点満点中、60 点以上で合格となる。

評価は筆記試験、実技試験、課題レポート、口頭試問などで実施する。

実技試験は客観的評価（ＯＳＣＥ）で点数化する。

課題レポートの評価はルーブリック評価などの導入

卒業・進級の認定基準

（概要）

１年次：47 単位、２年次：42 単位、３年次：38 単位の単位数を取得すれば、進級、卒業となる。

各単位を取得できなかった場合は、次年度に再履修となる。（細則に規定）

127 単位を取得すれば卒業となる。

学修支援等

（概要）

あマ指師免許、はり師免許、きゅう師免許　各国家試験対策授業、補習授業の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
４５人 （100%）	人 （　0%）	４１人 （91.1%）	４人 （8.9%）
主な就職、業界等　　施術所勤務（あはき柔整）　出張業務（あはき）			
就職指導内容　　個別相談　就職説明会開催など			
主な学修成果（資格・検定等） あん摩マッサージ指圧師国家資格、はり師国家資格、きゅう師国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１４７人	５人	３．４%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情、健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 面談、出席状況のチェック、成績対策として補講の実施		

整復科

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療		医療専門課程	整復科				○
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	2790 時間／単位	2130 時間	時間	180 時間	時間	480 時間
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	２１人	０人	５人	１９人	２４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 柔道整復師養成施設指導要綱を基に柔道整復師としての質の保障に適う人材育成のためのシラバスを作成し、教員、講師が内容及び到達目標を設定している。

成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については実技を含め全てを点数化して３段階の評価を行い厳正に評価し、適正に管理して単位取得、進級、卒業を判定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則を基に各科目６０点以上を合格とし、進級判定会議および卒業判定会議にて単位認定を行う。
学修支援等
（概要） 図書室や教室などの時間外利用により自主学習の機会を与え、時間外の補講にも力を注いでいる。また毎日の小テストや実力テストなども頻繁に行い、習熟度を判定して各学生にあった指導をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１９人 （100%）	５人 （26.3%）	１４人 （73.7%）	人 （　　%）
（主な就職、業界等） 接骨院、整形外科、介護老人施設			
（就職指導内容） 就職説明会および個人就職相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師国家資格取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
４２人	３人	７．１%
（中途退学の主な理由） 病気のため就学断念		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談やアルバイト等の斡旋		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
臨床検査科	300,000 円	600,000 円	300,000 円	
放射線科	300,000 円	600,000 円	390,000 円	
鍼灸科	200,000 円	930,000 円	330,000 円	
整復科	200,000 円	900,000 円	330,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
各学科、「学校法人行岡保健衛生学園　自己評価表」に基づいて、自己評価を実施している。評価項目については、「専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省生涯学習政策局：平成２５年３月）」を参照して定めている。 なお、自己評価結果については、学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/ で公表している。
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
各学科、「学校法人行岡保健衛生学園　学校関係者評価　評価表」に基づいて学校関係者評価を実施している。評価項目については、「教育理念・目標」、「学校運営」「教育活動」、「学修成果」、「学生支援」、「教育環境」、「学生の受け入れ状況」「法令等の遵守」「社会貢献・地域貢献」、「法人運営・財務」の１０項目である。 また、評価委員会については、各学科の専門分野における業界関係者（就職先・実習先施設、業界団体、職能団体役員）、学校運営に関する専門家（学校マネジメント）、卒業生より人選している。 なお、学校関係者評価結果については、社会のニーズを踏まえた実践的な職業教育機関としての使命を果たすべく、組織的・継続的見直しのための客観的な指標として活用している。併せて、公的な教育機関として、社会的説明責任を果たす観点からも、学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/disclosure/ で公表している。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
看護専門学校教学部長	都度	学校運営に関する専門家（マネジメント）
短期大学教授	都度	教育関連
歯科医院	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
歯科医院	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
医療機関	都度	業界関係者（産業界、就職先、実習先）

医療機関	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
医療機関	都度	業界関係者（産業界、就職先）
整骨院院長、同窓会役員	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
整骨院院長、職能団体役員	都度	業界関係者（産業界、職能団体）
会社役員、同窓会役員	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
整骨院代表、同窓会役員	都度	業界関係者（産業界、卒業生）
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 学校法人行岡保健衛生学園ホームページ「情報公開」 http://www.yukioka.ac.jp/discosure/ で公表している。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
第三者評価の実施に関しては、実施方法、実施時期等も含め、自己評価及び学校関係者評価との連関を整理しつつ、引き続き検討する。		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ　http://www.yukioka.ac.jp/nagra/